

岡谷市民憲章

緑と湖につつまれた美しい郷土、ここに生きるわたくしたち岡谷

市民は、先人の努力をうけつぎ、明るく豊かな近代都市をめざして、

この憲章をかかげ力強く前進します。

わたくしたちは

あたたかい心でまじわり、住みよい人間尊重のまちをつくります。

自然を保護し、公害のない美しい環境のまちをつくります。

心身をきたえ、明るい健康のまちをつくります。

教養を深め、かおり高い文化のまちをつくります。

仕事に誇りを持ち、豊かな産業のまちをつくります。

昭和四十六年七月一日制定

7月1日、岡谷市民憲章は 36歳になりました

…市民憲章は「まちづくりの合言葉」です…

36年前に岡谷市民が郷土を愛し、自らのまちを住み良い、豊かなまちとするために、市民のみなさんによって作られ、市民道徳や生活の規範として制定されました。

市民憲章は自ら実践してこそ意義のあるものです。より良いまちづくりのために、憲章の実践に心掛けましょう。

主な内容

平成18年7月豪雨災害から1年 ……	2
豪雨災害復旧の状況 ……	4
市の財政状況 ……	6
参議院選挙 ……	8
みんなのページ ……	12
社協だより ……	14
インフォメーション(おしらせ) ……	18

平成18年7月豪雨災害から1年

災害に強いまちづくりをめざして

昨年7月19日に発生した「平成18年7月豪雨災害」から早くも1年が過ぎようとしています。

これまで比較的自然災害が少なかった岡谷市においてはまさに未曾有の大災害であり、予想をはるかに超えた出来事でありました。

この災害により、防災体制のあり方について見つめ直す機会となりました。現在の復興状況とさまざまな減災への取り組みを紹介しながら、この1年を振り返ってみます。



湊 小田井沢



湊 小田井 船魂社



上の原
小学校



川岸橋原
志平



防災ラジオの配備

災害時における防災情報や緊急を要する行政情報等を、迅速かつ的確に伝達するとともに、岡谷市防災行政無線が聞き取りにくい場所や聞き取れない状況を改善するため、防災行政無線が受信可能な「防災ラジオ」を市民に配布し、安全・安心なまちづくりの推進と市民の福祉の向上のために役立てていただいています。



土砂災害警戒情報

土砂災害警戒情報は、大雨による土砂災害の恐れがあるときに発表される、新たな防災情報として、長野県がテレビ、ラジオ、インターネット等で情報を提供します。

発表は市町村ごとに行われ、土砂災害警戒情報が発表されたときは、いつ土砂災害がおきてもおかしくない、非常に危険な状態となります。

防災行政無線の放送のお知らせ

- ・7月15日(日) 午前中数回
花岡地区の防災訓練のため(花岡区)
- ・7月19日(木) 午前9時
災害一周年追悼式開催のため(全市)
サイレンの吹鳴や放送がありますが、
災害ではありませんので、間違わないようにしてください。

なお、防災ラジオでも放送が流れます。



3月に土砂災害、水害編の岡谷市簡易防災マップを作成し、全戸配布を行うとともに、転入者用に各支所、市民課などの窓口にも常備しました。

市内21区および消防団全11分団の屯所へ簡易防災マップの拡大版を配布しました。

簡易防災マップの全戸配布



11月19日に25団体約1,000人が市民総合体育館駐車場に集まり、7月の豪雨災害の教訓を踏まえ、状況に応じた体制整備を行うとともに、的確な判断と指示系統の訓練を行いました。

正確な情報提供を行うため、広報車、消防団による広報訓練と現在配布している防災ラジオの実働実験を行いました。

総合防災訓練



危険渓流パトロール

昨年7月の豪雨災害を受けて、雨季を前に市内危険渓流66か所について、諏訪建設事務所、諏訪地方事務所、岡谷警察署、岡谷消防署および市関係者により、現地視察を実施しました。

災害記録写真展

7月19日(木)から25日(水)まで
イルフプラザ・カルチャーセンター
3階催事場で開催します。



市内各所で雨の降り方が異なることから、局地的な雨量情報を迅速、的確に把握するため、市内でも距離が離れている3支所、清掃工場の4か所に雨量計を設置しました。

雨量計は、10分間ごとの雨量情報をインターネットを通じて、市役所に居ながら、情報収集ができるようになりました。

雨量計の新規設置